

～健苗で収量確保と品質向上を～

1 育苗計画 (営農のてびき p.16)

(1) 下表を参考に播種～田植えまでの日数を守り、**老化苗とならない**育苗計画をたてましょう。

品 種	浸種	播種	田植え	備考
五百万石・雄山錦	3月29日	4月14日	5月5日	播種～田植え：21日間
山田錦・新大正糯	4月7日	4月21日	5月10日	播種～田植え：19日間
コシヒカリ	4月7日	4月21日	5月10日	※山田錦はコシヒカリの前に田植えをする。
てんこもり	4月13日	4月26日	5月15日	

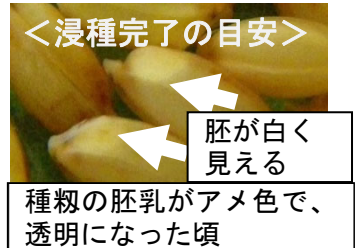
休眠がやや深いため、浸種開始日を上記より1～2日早めましょう。

※中山間地域や初期茎数が確保しにくい地域では、コシヒカリの田植えを5月10日としましょう。

2 浸種

- 種籾量は網袋の半分以下とし、水量は種籾の2倍以上としましょう。
- 浸種時の**水温は10～15℃を確保**しましょう。発芽の不揃いを防ぐため、**特に浸種初日は12.5℃を目安に**水温を保ちましょう。
 ※気温が低い場合は育苗室や育苗器等の利用や差し湯をするなど、適正な水温を確保しましょう。
 気温が高い場合は「日陰におく」「水のかけ流し」「頻繁な水の入れ替え」を行いましょ。
- 水道水などを使用し、1～2日毎に、水の入れ替えを行いましょ。
 また、水の交換時には、種籾袋内を攪拌し、上下を入れ替えましょ。

品 種	水温	浸種日数	目標積算温度
五百万石・雄山錦	10℃ ～ 15℃	13～15日間	130℃以上
てんこもり		12日間	120℃以上
コシヒカリ 山田錦・新大正糯		10日間	100℃以上



休眠がやや深いため(特に早生)、浸種日数は上記の日数+1～2日を目安にましょ。

3 催芽 ～作業前には必ず営農のてびき (p.18～19) を確認ましょ～

- 催芽時間は品種や浸種条件により、ばらつきがあります。
必ず発芽状態を確認して下さい。

目 安	温度	30℃
	時間	16～24時間

- 循環式催芽機を使用する場合は、催芽時に食酢液(酸度0.1%)で処理ましょ。
※24時間以上かかる場合は、真水に入れ替えて下さい。
- 生物農薬(タフブロック)消毒の場合は、催芽時にタフブロック200倍液と食酢液(酸度0.1%)で処理ましょ。
- 化学農薬(モミガードC水和剤)消毒の場合は防除効果を高めるため、**浸漬処理時(消毒済種子は浸種開始時)は12.5℃を目安に**水温を保ちましょ。また、催芽は蒸気式の育苗室や育苗器で行いましょ。
※発芽率を確保するため、もち米は必ず「生物農薬(タフブロック)+食酢」または「化学農薬(モミガードC水和剤)」で処理ましょ。

<催芽完了の目安>



化学農薬消毒

食酢処理
(温湯・タフブロック)
やや短め

お問い合わせは、JA なんと営農部(62-0261)
 または砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ

JA なんとメールマガジンの登録はこちらから→

